Hitachi Koki
POWER TOOLS for PROFESSIONAL

取扱説明書

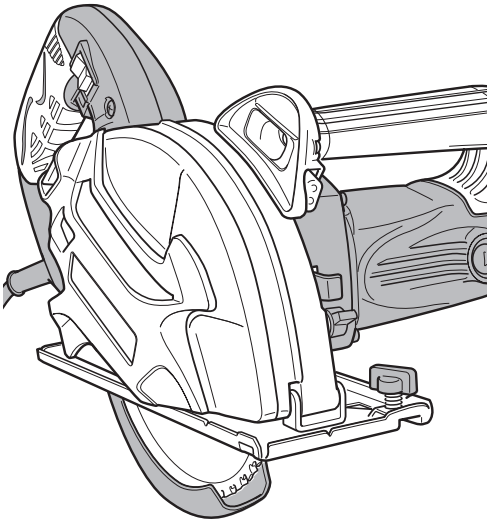
用途
- ●各種軟鋼材の切断
- ●アルミサッシの切断
- ●ステンレスの切断

二重絶縁

ブレーキ付 **日立チップソーカッタ**

180 mm **CD 7SA**

このたびは日立チップソーカッターをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



はじめに
- 電動工具の安全上のご注意 ……1
- 二重絶縁について ……4
- 本製品の使用上のご注意 ……4
- 各部の名称 ……7
- 仕様 ……8
- 標準付属品 ……8
- 別売部品 ……9

準備
- ご使用前の準備 ……10
- ご使用前の点検 ……11

使い方
- チップソーの取りはずし・取付け…13
- 切断する ……15
- 切りくずの捨て方 ……17

その他
- 保守・点検 ……18
- ご修理のときは……裏表紙

HITACHI

⚠警告、⚠注意、 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ **警告**」、「⚠ **注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠ 警 告 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠ 注 意 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお、「⚠ **注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注 ：**製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。**

電動工具の安全上のご注意

- **火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。**
- **ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。**
- **お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。**

⚠警告

① 作業場は、いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。

② 作業場の周囲状況も考慮してください。
- 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

③ 感電に注意してください。
- 電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）

④ 子供を近づけないでください。
- 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

⑤ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
- 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。

⚠警告

⑥ 無理して使用しないでください。
- 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。
- 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

⑧ きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- 屋外で作業する場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。

⑨ 保護メガネを使用してください。
- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

⑩ 防音保護具を着用してください。
- 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

⑪ コードを乱暴に扱わないでください。
- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。
- 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

⑭ 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに依頼してください。
- 延長（継ぎ）コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

⚠警告

⑮ 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 使用しない、または、修理する場合。
- 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。

⑯ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。

- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

⑰ 不意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、スイッチを引きストッパがはずれていること（連続運転の状態のままになっていないこと）を確かめてください。

⑱ 屋外使用に合った延長（継ぎ）コードを使用してください。

- 屋外で延長（継ぎ）コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。

⑲ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

⑳ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、修理をお買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに依頼してください。
- スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

㉒ 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターにお申し付けください。ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

二重絶縁について

電気の流れる所と外観部品との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されていることを言います。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されていて感電しにくくなっています。

お求めのチップソーカッタは二重絶縁をしてあり、銘板に二重絶縁を表す回 マークで表示してあります。異なった部品と交換したり、間違って組立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。

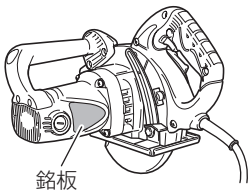
電気系統の分解、組立や部品の交換はお買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターにご用命ください。

本製品の使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、チップソーカッタとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

① **使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。**
- 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に速くなり、けがの原因になります。

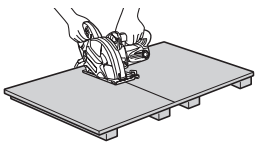


② **保護カバーは、絶対に固定しないでください。また、円滑に動くことを確認してください。**
- チップソーが露出していると、けがの原因になります。

③ **チップソーは、銘板に表示してある範囲内のチップソーを使用してください。**
また、歯底径が 165 mm以下のチップソーは使用しないでください。
- 保護カバーのおおいが不完全となり、けがの原因になります。

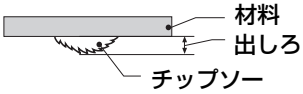
④ **切断する材料は、安定性のよい台に置いてください。**
- 台が不安定であると、けがの原因になります。

⑤ **切り落とし寸前や切断中に、材料の重みでチップソーがはさみつけられないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。また、材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性のよい台を設けてください。**
- チップソーがはさみつけられると、けがの原因になります。



⚠警告

⑥ **切り落とした材料がチップソーと接触し、飛散するのを防止するために、台の高さは、チップソーの出しろの 3 倍以上にしてください。**



- このような台がないと、けがの原因になります。

⑦ **使用中は、本体を確実に保持してください。**

- 確実に保持していないと、本体が振れ、けがの原因になります。

⑧ **使用中は、チップソーや回転部、切りくずの排出部へ手や顔などを近づけないでください。**

- けがの原因になります。

⑨ **切断途中で、チップソーを回転させたまま本体を戻さないでください。必ずスイッチを切り、回転が完全に止まってから本体を持ち上げるようにしてください。**

- 回転させたまま本体を戻したり、持ち上げると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。

⑩ **使用中、本体の調子が悪かったり、異常音がするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。**

- そのまま使用すると、けがの原因になります。

⑪ **誤って落としたり、ぶつけたときは、チップソーや本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**

- 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⑫ **切断材料は確実に固定してください。**

- 固定が不十分ですと切断材料が飛んだり、チップソーが破損する原因になります。

⑬ **金属を切断する時は、引火しやすいもの傷つきやすいものは、遠ざけてください。**

- 切りくずは高温になり、また切断火花も発生します。
  切りくずなどを直接手足などに当てると、けがの原因になります。

⑭ **鋼材の連続切断はしないでください。**

- 鋼材を連続して切断すると、切断火花、切りくずによりダストカバー（B）が高温となり、ダストカバー（C）が変形したり、溶ける原因になります。

⑮ **切削油などを付けて切断しないでください。**

- 切削油、研削液およびワックスなどの種類によっては、切断時の火花で発火する場合があります。

⚠注意

① **刃物類(チップソーなど)や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。**
- 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。

② **チップソーにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。**
- チップソーが破損し、けがの原因になります。

③ **使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。**
- 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。

④ **作業前に、周囲の安全を確認してから空転させ、本体の振動やチップソーの面振れなどの異常がないことを確認してください。**
- 異常があると、思わぬ動きをして、けがの原因になります。

⑤ **ブレーキが働くときの反発力に注意してください。**
- 本体を落としたりし、けがの原因になります。

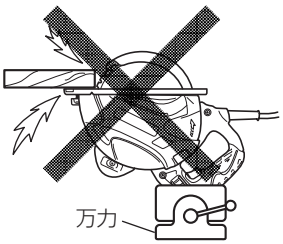
⑥ **切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。**
- 強い反発力が生じ、けがの原因になります。

⑦ **材料に釘などの異物が付いてないことを確認してください。**
- 刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。

⑧ **切断しようとする材料の上に手を置いたり、コードを材料の上にのせたまま作業しないでください。**
- 手を切ったり、コードを切断し、感電の恐れがあります。

⑨ **回転するチップソーで、コードを切断しないよう注意してください。**
- 感電の恐れがあります。

⑩ **本体を万力などで保持した使い方はしないでください。**
- 不意の接触などで、けがの原因になります。

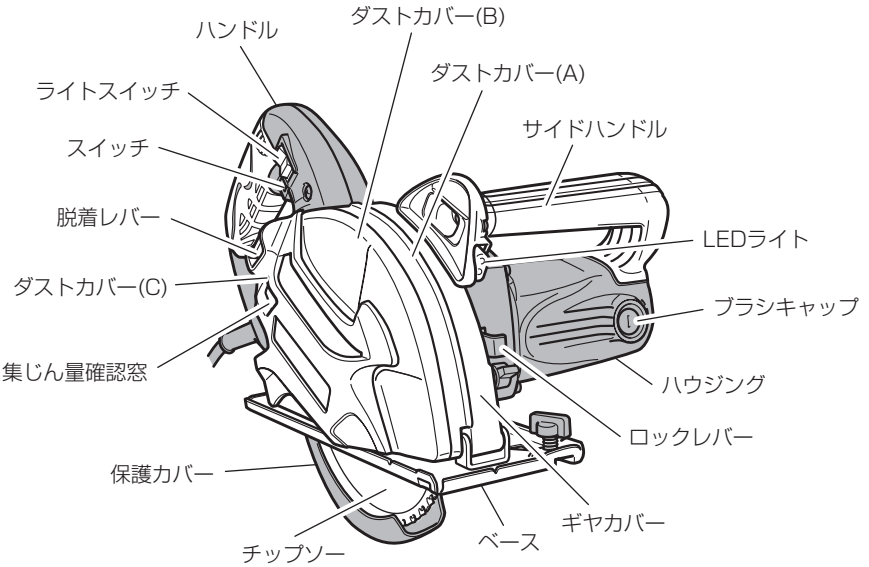


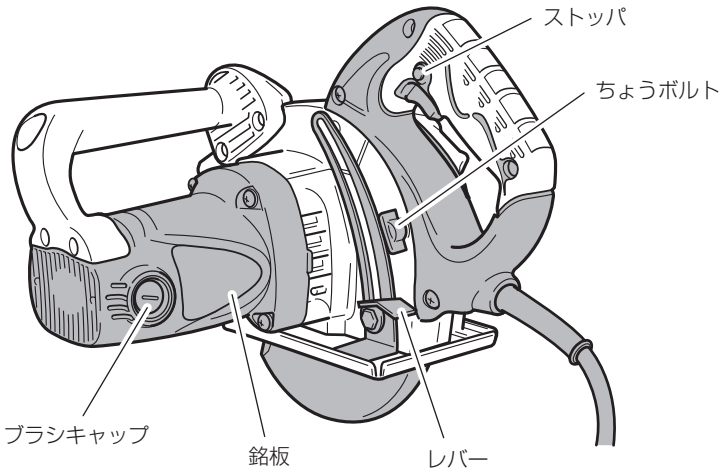
⑪ **高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。**
- 材料や本体などを落としたとき、事故の原因になります。

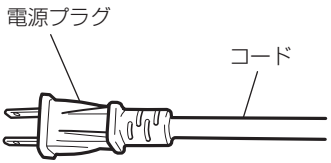
⑫ **回転させたまま、台や床などに放置しないでください。**
- けがの原因になります。

⑬ **切りくずは満杯になる前に早めに捨ててください。**
- ダストカバー内に切りくずが満杯のままで使用すると、集じん力の低下、ダストカバー(B)が高温となり、ダストカバー(C)の変形、溶けの原因になります。

各部の名称


ハンドル
ダストカバー(B)
ライトスイッチ
ダストカバー(A)
スイッチ
サイドハンドル
脱着レバー
LEDライト
ダストカバー(C)
ブラシキャップ
集じん量確認窓
ハウジング
ロックレバー
保護カバー
ギヤカバー
チップソー
ベース

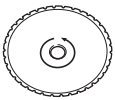

ストッパ
ちょうボルト
ブラシキャップ
銘板
レバー


電源プラグ
コード

仕　様

形名 / 項目	CD 7SA
使　用　電　源	単相交流 50 ／ 60 Hz 共用　　電圧 100 V
最大切込み深さ	60.5 mm（外径 185 mmのチップソー使用時は 63 mm）
チップソー寸法	外径 180 mm×穴径 20 mm
	（外径 185 mmのチップソーや穴径 19 mmのチップソーも使用可能）
無負荷回転数	3,700 min^{-1} {3,700 回／分}
全負荷電流	14 A
消　費　電　力	1330 W
モ　ー　タ　ー	単相直巻整流子モーター
質量(コードを除く)	4.0 kg
コ　　ー　　ド	2 心キャブタイヤケーブル： 5 m

標準付属品

標準付属品 / 形名・(仕様)	CD 7SA	CD 7SA(N)
① 軟鋼材用チップソー 	1 枚	（別売）
② ボックススパナ	1 個	1 個
③ ガイド	1 個	1 個
④ 保護めがね	1 個	1 個

外径	穴径	チップ幅	のこ身厚さ	歯数
180 mm	20 mm	1.9 mm	1.5 mm	38 枚

別売部品（別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。）

本体の性能を十分に発揮させ、能率良く作業するためには、切断材に適したチップソーを使うことが大切です。

切断材の種類、板厚に適したチップソーを下記表を参考にして使用してください。

⚠警告

別売部品を使用の際も保護メガネを使用してください。

各種切断材に対するチップソーの選び方

◎:最適　○:適　ー:不適

切断材料 板厚(mm) ＼ チップソーの種類		軟鋼材用 外径180 mm 歯数34枚	軟鋼材用 外径185 mm 歯数38枚※	薄肉軟鋼材用 外径185 mm 歯数48枚※	アルミサッシ用 外径185 mm 歯数60枚	ステンレス用 外径180 mm 歯数56枚
リップ溝形鋼	1.6～3.2	○		◎	—	—
軽溝形鋼	1.6～2.3	○		◎	—	—
	3.2	◎		◎	—	—
鋼製下地材	0.5～0.8	◎		◎	—	—
アングル	3	○		◎	—	—
	4～6	◎		—	—	—
鋼板	4～12	○		—	—	—
四角パイプ	1.2～2.3	◎		◎	—	—
	3.2～3.5	○		○	—	—
丸パイプ（構造用 配管・圧力管用）	1.2～2.8	○		◎	—	—
	3.2～3.5	◎		○	—	—
アルミサッシ		—		—	◎	—
ステンレス板材	2	—		—	—	◎
ステンレス丸パイプ	2	—		—	—	◎

参　考

※軟鋼材用【外形185 mm、歯数38枚】および薄肉軟鋼材用【外形185 mm、歯数48枚】には、低音刃タイプもあります。詳しくは本製品をお買い求めの販売店もしくは日立工機電動工具センターにお問い合わせください。

ご使用前の準備

●作業場は整頓をし、明るくしてお使いください

●漏電しゃ断器の設置をおすすめします

本製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

●延長（継ぎ）コードを使う場合

⚠警告

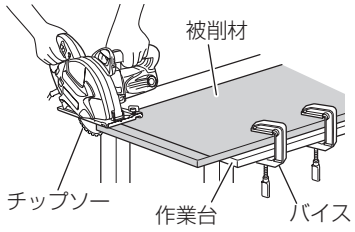
延長（継ぎ）コードは損傷のないものを用意してください。

電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードをご使用ください。
右表は使用できるコードの太さ（導体公称断面積）と、最大の長さです。

コードの太さ（mm²）	最大の長さ（m）
1.25	10
2	15
3.5	30

●作業台（木製）を用意します

- チップソーが材料の下面より出ますので、作業台の上に置いて材料を切断します。
- 材料の切り残し側を、バイスで固定するなどしてしっかり押さえてください。



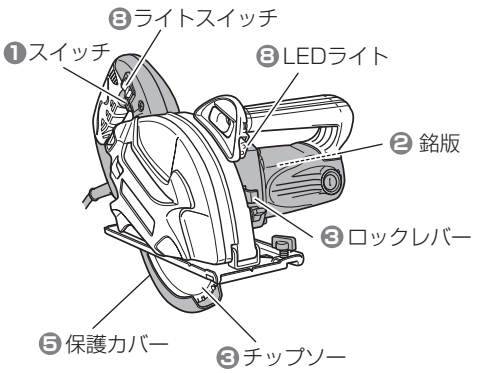
○騒音防止規制について
騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前の点検

⚠警告

使用前に次のことを確認してください。手順❶～❺については、電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

注 ❸ロックレバーが元の位置に戻らない場合、❺保護カバーが円滑に動かない場合、❼ブレーキが正常に作動しない場合は、ただちに使用を中止し、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。



❶ スイッチのストッパがはずれていることを確かめます

●ストッパが入っている(連続運転の状態になっている)のを知らずに、電源プラグをコンセントにさし込むと、不意に動き思わぬけがの原因になります。

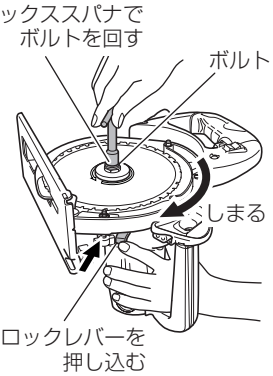
●スイッチを引きストッパがはずれていることを確認してください。
(P16「スイッチについて」参照)

❷ 電源を確かめます

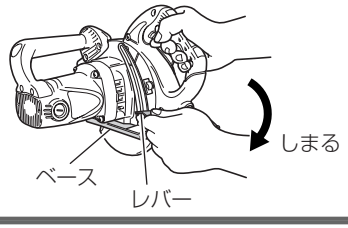
●必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に高速になり、機体が破損する恐れがあります。
また、直流電源、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

❸ チップソーの締付けを確かめます

●ロックレバーを押し込みながら、付属のボックススパナでボルトを時計方向に回すと、チップソーの回転が止まる位置があります。その状態のまま締付けます。
(P13、14「チップソーの取りはずし・取付け」参照)



4 切込み調整用レバーの締付けを確かめます



⚠ 警告

切込み調整用レバーが十分に締まっていることを確認してください。
ゆるんでいると、けがの原因になります。

5 保護カバーの動きを確かめます

- ●保護カバーは、身体がチップソーに触れるのを防ぐものです。
- ●必ずチップソーをおおうように円滑に動くことを確認してください。

⚠ 警告

保護カバーは、絶対に固定しないでください。
チップソーが露出していると、けがの原因になります。

6 コンセントを確かめます

- ●コンセントががたついたり、電源プラグが抜けるようだと修理が必要です。そのまま使用すると危険です。電気工事店にご相談ください。

7 ブレーキがかかることを確かめます

- ●この本体はスイッチを切ると同時に、チップソーの回転にブレーキがかかる構造になっています。
  ご使用前に、ブレーキがかかることを確認してください。

⚠ 注意

ブレーキが働くときの反発力に注意してください。
本体を落としたりし、けがの原因になります。

8 LEDライトの点灯を確かめます

- ●ライトスイッチの「ON」側を押すと点灯し、「OFF」側を押すと消灯します。

注
- LEDライトのレンズ部に付着したごみは、柔らかい布などでふき取り、LEDライトのレンズ部に傷が付かないように注意してください。
  LEDライトのレンズ部などに傷が付くと、明るさが低下する原因になります。
- ライトスイッチに、取付けてある防じん用カバーに傷を付けたり、防じん用カバーを破いたりしないように注意してください。

チップソーの取りはずし・取付け

⚠ 警告

- チップソーの取りはずし・取付けの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  思わぬ事故のもとになります。
- チップソーの取りはずし・取付けの際は、安定した台や床の上で行ってください。
- ボルトの着脱は付属のボックススパナで作業してください。
  付属以外の工具を使用すると、締過ぎや締付け不足になり、けがの原因になります。

⚠ 注意

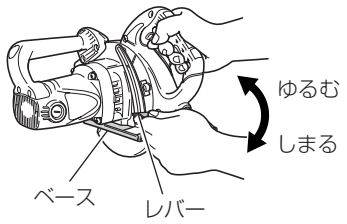
切断作業後は、チップソーやダストカバー(A)と(B)が熱くなっていることがありますので、注意してください。

工場出荷の際には、チップソーが取付けてありません。お買い上げ後はじめてご使用になる時は「チップソーの取りはずし」手順❶～❸を行いボルトとワッシャ(B)を取りはずします。

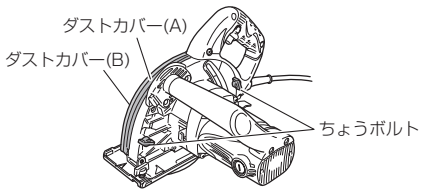
次に「チップソーの取付け」手順❸からの要領でチップソーを取付けてください。

●チップソーの取りはずし

1 切込み調整レバーをゆるめ切込み深さを最小にします

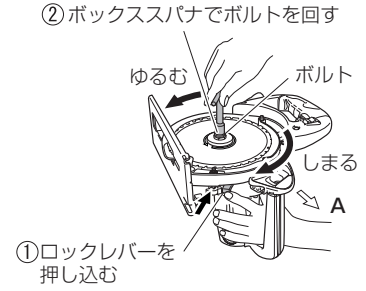


2 ちょうボルト(2本)をゆるめ、ダストカバー(A)と(B)をはずします。



3 ボルトとワッシャ(B)をはずします

●ロックレバーを押し込みながら、付属のボックススパナでボルトを反時計方向に回すと、チップソーの回転が止まる位置があります。この状態のままボックススパナを反時計方向に回し、ボルトをはずします。



4 チップソーを取りはずします

●チップソーをA方向に取り出します。

●チップソーの取付け

1 切込み調整用レバーをゆるめ、切込み深さを最小にします（P13の❶参照）

●スピンドルや、ワッシャ（A）、ワッシャ（B）に付いている切りくずをよくふき取ってください。

2 スピンドルにディスタンスピースを入れてから、ワッシャ（A）を取付けます

穴径 20 mmのチップソーを取付ける場合

●ワッシャ（A）の凹部の浅い方をチップソー側にします。

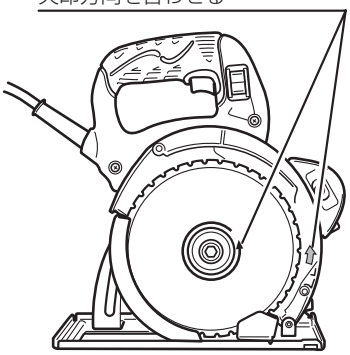
穴径 19 mmのチップソーを取付ける場合

●ワッシャ（A）の凹部の深い方をチップソー側にします。

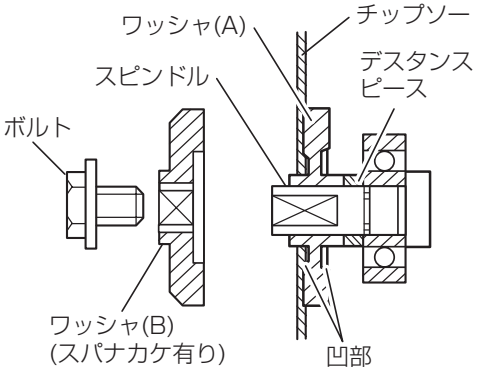
3 チップソーを取付けます

●チップソーの矢印がギヤカバーの矢印方向と一致するようにチップソーを取付けます。

ギヤカバーの矢印とチップソーの矢印方向を合わせる



注
- ワッシャ（A）（B）の取付け方向を誤ると、チップソーを取付けることができません。
- ワッシャ（A）、ワッシャ（B）は必ず本体に取付けてあるものを使用してください。



4 チップソーを固定します

●ワッシャ（B）の凹部をチップソー側にして取付け、スパナでボルトを時計方向に十分に締付けます。（P13の❸参照）

注 電源プラグをコンセントにさし込む前に、ロックレバーが元に戻っており、チップソーが円滑に回転することを確かめてください。

5 ダストカバー（A）（B）を取付け、切込み深さを調整し、切込み調整用レバーを締付けます

（（P13の❶、❷参照）

●チップソーが円滑に回転することを確認します。

切断する

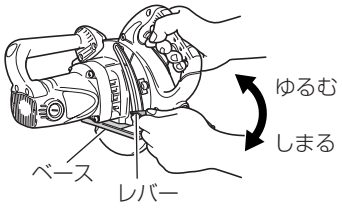
⚠警告

- 万一の事故を防止するため、❶はスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて調整してください。
- 作業中断時や作業後は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 使用中に異常音や異常振動など本体の調子に異常を感じたときは、直ちにスイッチを切り、点検・修理に出してください。
- 切断中に本体をこじったり、強く押しすぎないでください。本体をまっすぐに静かに進めるようにしてください。
  反発力を受け、けがの原因になります。また、モーター部に無理がかかるとともに、チップソーの寿命を短くします。
- チップソーを上向き、横向きにした使い方は絶対にしないでください。
  けがの原因になります。

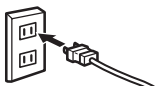
注
- 切込み深さを浅くしてご使用になる場合には、刃口が開くため集じん力が低下します。
- 切断はゆっくりと押し進めてください。特に切り始め、切り終りはゆっくり進めてください。
- チップソーを切断材料に当てたまま、スイッチを入れないでください。
  切断途中では、スイッチを切らないでください。
  切断を途中で止める場合は、回転させたまま本体をバックさせ、チップソーが切断材料から離れたあとスイッチを切ってください。
- 切断材料の重ね切りはしないでください。

1 切断する材料の厚みに応じて切込み深さを調整します

●切込み調整レバーをゆるめ、ベースを上下させて調整し、切込み調整レバーを締付けてベースを固定します。

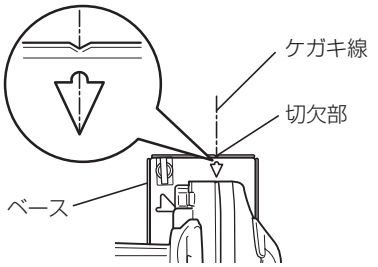


2 電源プラグをコンセントにさし込みます



3 ケガキ線に合わせます

●材料の上に本体（ベース）をのせ、ケガキ線がベース切欠部と▽穴の中心を通るように合わせます。

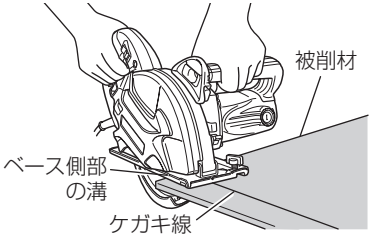


●ガイドを使って切断する際には右ページの「ガイドの使い方」を参照してください。

4 スイッチを入れ、ゆっくり前方に進めます

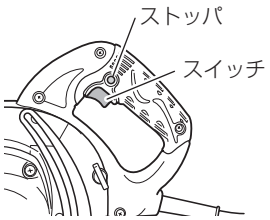
●チップソーが材料に触れない状態でスイッチを入れ、チップソーの回転が最高速になりましたら、ゆっくり前方に進め、切り終るまでこの状態を保つようにします。
(下の「スイッチについて」参照)

●ひき肌をきれいにするには、一定の速さでまっすぐに進めてください。



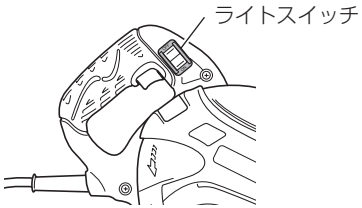
●スイッチについて

スイッチをいっぱいに引いた状態でストッパを押すと連続運転になります。スイッチを切るときは、もう一度スイッチを引き、ストッパがはずれてから指を離します。



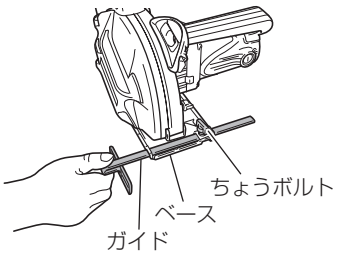
●ＬＥＤライトについて

ライトスイッチの「ON」側を押すと点灯し、「OFF」側を押すと消灯します。ケガキ線が見にくい場合には、LEDライトを点灯させてケガキ線とベース先端の溝を合わせてください。



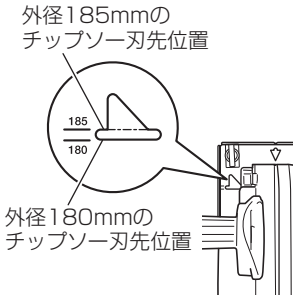
●ガイドの使い方

ちょうボルトをゆるめて、付属のガイドをベースの穴へさし込みます。ガイドを左右に動かし、切断位置の調整をします。調整後は、ちょうボルトを十分に締付けてください。



●刃先の位置について

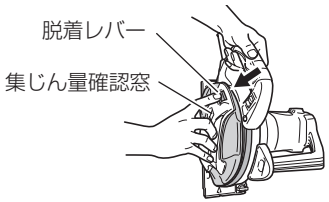
ベースに付いている△穴部は、チップソーの位置を示します。
切り終わりの刃先の位置が確認でき、材料を途中まで切断するときなどに便利です。



切りくずの捨て方

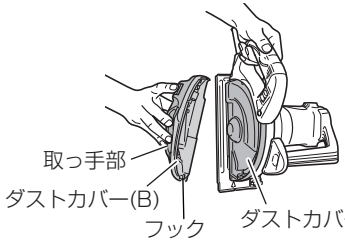
ダストカバー(A)(B)内に切りくずがたまりすぎますと、集じん力が低下します。集じん量確認窓からときどき確認し、満杯になる前に切りくずを早めに捨ててください。

1 脱着レバーを押し下げてロックをはずします。



2 切りくずを捨てます

●取っ手部を持ち、ダストカバー(B)を後方に引きながら前方のフックをはずします。
●ダストカバー(B)をはずし、内部の切りくずを捨てます。



3 掃除します

●ダストカバーに付着している切りくずをかわいた布等できれいにふきとり、内部がよく見えるようにしてください。
●取付けは取りはずしの逆の手順で行ってください。

⚠警告

- ダストカバーの取りはずし･取付けの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  思わぬ事故のもとになります。
- ダストカバーの開閉・掃除の際は、安定した台や床の上で行ってください。

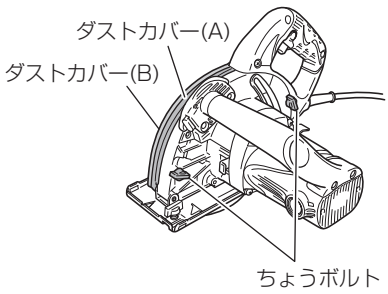
⚠注意

切断直後の切りくずは高温になるため、ダストカバーも高温になる場合があります。切りくずやダストカバーには直接手など触れないでください。

注
- ダストカバーは、変形させないようにていねいに取扱ってください。
- 切りくずを捨てる時に、本体のモーター部に切りくずが入らないようにしてください。

参 考

切りくずをこぼさずに捨てるには、ちょうボルト(2本)をゆるめ、ダストカバー(A)(B)をはずすと、切りくずがダストカバー内にたまった状態で取りはずせます。



保守・点検

●チップソーの点検

切れ味が悪くなったまま使用すると、モーターに無理がかかり作業の能率も落ちますので、早めに新品と交換してください。

●本体はきれいに

石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類は変形の原因になるので使用しないでください。

●保護カバーの動作点検と保守

保護カバーは、いつも円滑に動作するようにしてください。
なお、不具合のときは速やかに修理するようにしてください。

●製品や付属品の保管

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

注
- お子様の手が届いたり、持ち出せる場所には保管しない。
- 軒先など雨がかかったり、湿気のある場所には保管しない。
- 直射日光の当たる場所には保管しない。
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

●取付けねじの点検

時々点検して、ゆるんでいたら、締め直してください。
そのまま使用すると危険です。

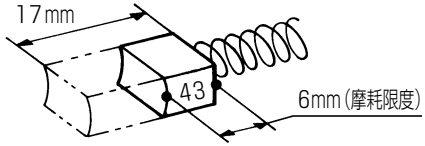
⚠警告

- 点検・お手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 切れ味の悪くなったチップソーはそのまま使用しないでください。
  無理して使用すると、切断時の反力が大きくなり、けがの原因になります。

●カーボンブラシの点検

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しております。カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターの故障の原因となりますので、長さが摩耗限度（6 mmぐらい）になりましたら新品と交換してください。

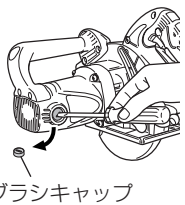
また、カーボンブラシはごみなどを取り除いてきれいにし、ブラシホルダ内で自由にすべるようにしてください。



注 新品のカーボンブラシと交換の際は必ず図示の番号（43）の日立カーボンブラシをご使用ください。指定外のカーボンブラシを使用するとブレーキがかからないことがあります。

カーボンブラシの交換方法

カーボンブラシは、マイナスドライバーなどでブラシキャップをはずしますと取り出せます。



ご修理のときは

この製品は、厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決してご自身で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

ご不明のときは、下記の全国営業拠点にご相談ください。その他、部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　年　月　日	製造番号(NO.)
販売店（TEL）	

全国営業拠点

■ 日立工機電動工具センターへのご用命は、下記の営業拠点にお問い合わせください。

北海道支店　TEL (011) 271−4751 (代)　〒060−0003 札幌市中央区北三条西4丁目1番地1(日本生命札幌ビル)
東北支店　TEL (022) 288−8676 (代)　〒984−0002 仙台市若林区卸町東3丁目3番36号
東京支店　TEL (03) 5812−6331 (代)　〒110−0016 台東区台東4丁目11番4号(三井住友銀行御徒町ビル)
中部支店　TEL (052) 262−3811 (代)　〒460−0008 名古屋市中区栄3丁目7番13号(コスモ栄ビル)
北陸支店　TEL (076) 263−4311 (代)　〒920−0058 金沢市示野中町1丁目163番
関西支店　TEL (06) 4796−8451 (代)　〒530−0001 大阪市北区梅田2丁目6番20号(スノークリスタル)
中国支店　TEL (082) 228−0537 (代)　〒730−0011 広島市中区基町11番13号(第一生命ビル)
四国支店　TEL (087) 863−6761 (代)　〒760−0078 高松市今里町1丁目28番14号
九州支店　TEL (092) 621−5772 (代)　〒813−0062 福岡市東区松島4丁目8番5号

「電動工具お客様相談センター」　0120 - 208822（フリーダイヤル・無料）
※携帯電話からはご利用になれません。　（土・日・祝日を除く 午前9：00 ～ 午後5：00）
電動工具ホームページ──http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

日立工機株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号(品川インターシティA棟)
国内営業本部　TEL（03）5783 - 0626（代）

部品コード　C99167501